

1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	大月市駒橋	地区名	テントウ沢 (テントウサワ)	事業主体	山梨県																																						
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 本溪流は流域面積0.74km<sup>2</sup>の土石流危険溪流であり、土石流災害警戒区域に指定されている。近年の降雨などにより溪岸浸食が進み、溪床には不安定土砂が多く堆積している。既設砂防施設のみでは整備率が低く、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険が高まっている。保全対象には人家24戸、重要交通網である国道20号（第1次緊急輸送道路）やJR中央本線が存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防堰堤を早急に設置し、土石流災害を未然に防止する必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 45% &lt; 70%未済※ ・重要公共施設の有無 有 第1次緊急輸送道路（国道20号）、JR中央本線 （保全対象：人家24戸、国道20号159m、JR中央本線246m、市道193m）</p> <p>□副次目標 -</p> <p>□副次効果 被災時の被害波及防止（緊急輸送道路・鉄道）</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当。</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性</p> <table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>310 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R16</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>249 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">292 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>248 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">74 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑止</td> <td colspan="2">12 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">15 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">191 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.2</td> </tr> </table> <p>※その他は、応急対策（家計）、人的被害（精神的損失） 費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である。</p> <p>⑤整備手法の有効性 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている。</p>				総事業費	310 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6	経済効率性	費用	249 百万円	便益	292 百万円		建設費	248 百万円	一般資産被害抑止	74 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	12 百万円				人身被害抑止	15 百万円				その他※	191 百万円		B/C			1.2		
総事業費	310 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6																																								
経済効率性	費用	249 百万円	便益	292 百万円																																									
	建設費	248 百万円	一般資産被害抑止	74 百万円																																									
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	12 百万円																																									
			人身被害抑止	15 百万円																																									
			その他※	191 百万円																																									
B/C			1.2																																										
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 砂防堰堤 1基 H=11.5m L=50.0m</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和16年度</p> <p>④総事業費 約310百万円（国費155百万円(5/10)県費155百万円(5/10)）</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>詳細測量、詳細設計、地質調査</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用地測量、用地調査、用地取得・補償</td> <td>10 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9~16年度</td> <td>砂防堰堤工事</td> <td>280 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 ・砂防堰堤 2基</p>				令和7年度	詳細測量、詳細設計、地質調査	20 百万円	令和8年度	用地測量、用地調査、用地取得・補償	10 百万円	令和9~16年度	砂防堰堤工事	280 百万円	<p>総合評価 [貢献度ランク：a]</p> <p>(4) 事業位置図等</p>																																
令和7年度	詳細測量、詳細設計、地質調査	20 百万円																																											
令和8年度	用地測量、用地調査、用地取得・補償	10 百万円																																											
令和9~16年度	砂防堰堤工事	280 百万円																																											

## 2. 添付資料シート

